

2015年度 スローガン

飛躍への挑戦

～和の心をもって、未来を切り拓こう～

● ● ● 方針策定にあたり ● ● ●

国内景気は政府の一連の経済政策の影響により、景気回復への期待は高まっているものの、日本経済が本格的に回復するか否かは今後の成長戦略の成否に掛かっています。しかし、これまでの日本は長きに亘り、低成長とデフレの時代の中、閉塞感から抜け出せずにいました。このような先行き不透明感が漂う中、2013年度にヤナセ労働組合は永続的に成長し続けられる組合員や組織を確立するために、これまでになかった組合組織や活動の根幹となるミッション（使命・活動目的）ならびにビジョン（ありたい姿）を策定しました。そして、スローガン「飛躍への挑戦」を掲げ、組合ビジョン実現に向けた活動をスタートさせました。前年度は同スローガンの副題に私たちの強みでもある「チームワーク」に結び付く組合ビジョンワード、「仲間を大切にすること」を最大限に活かすべく、「仲間と共に輝く未来へ」としました。今年度もこの「仲間」をキーワードに組合ビジョン実現に向けた取り組みを加速させるために同スローガンを掲げ、副題は「和の心をもって、未来を切り拓こう」としました。「和」には、第一にお互いに協力し合う関係であることの意味が込められています。仲間との「和」はもちろん、家族や地域社会も含めてお互いに「和」の心をもって心を通わせ合い、話し合い、気づき合えるような活動を展開したいと考えます。そして第二には「和」を「輪」と解し、改めて人と人の繋がり、即ちチームワークを重んじた活動に注力します。仲間と共に心をつなぐ「輪」にし、直面す

る問題や課題には心を合わせて考え、行動し、素晴らしい成果を得、その先にある組合ビジョン実現に向かって実直かつ果敢に未来を切り拓きたいと願います。

さて、経営にとって必要な要素を2つに大別するならば、それは目に見える要素と目に見えない要素に分けられます。目に見える要素とは経営数値や達成率などの数値であり、目に見えない要素とは私たち組合員も含めた従業員の「気持ち」や「やりがい」にあたる「心」の領域だと考えます。私たち労働組合はこれらの二要素の均衡を保ちながらも目に見えない領域に相当する「心」の分野における活動を充実させ、力を発揮することこそが組織に求められる役割だと考えます。私たちはこれまで以上に組合員一人ひとりが「会社の魅力を感じ」、「誇り」を持って、「ずっと働きたい」、「会社を良くしたい」と思える会社や職場、仕事を創造しなければなりません。

スローガンの副題に込めた「和」の心による、目に見えない「心」の領域への活動を通じて、仲間同士の「小さな気づきが大きなチカラに」なることを願い、仲間の成長とともに会社の永続的な発展に繋がりたいと考えます。小さな気づきによって「心（気持ち）」が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人は変わる。結果、自己と仲間の成長に、そして会社の永続的な発展に繋がるよう、組合ビジョン（ありたい姿）を実現し、未来永劫、輝きを放つヤナセ労働組合でありたいと考えます。

2015年度 重点目標 ①

“私たち組合員はこうありたい”を実現します

▶ 完遂のための具体的な活動

● 仲間を大切にすること

～ありがとう運動、仲間のフォローやサポート（互いに認める、助け合う、敬う、利他の精神、相手の立場になって行動すること、親切にすること）、声掛け運動（場合によっては叱ることも大切）、感謝の気持ちを忘れない～

● 常に明るくあること

～ありがとう運動、挨拶運動、声掛け運動、自らが明るく前向きに考え行動すること、変化を恐れず新しいことに挑戦する～

● 物怖じせず言動すること

～職場の問題や課題はその職場で解決、各委員会や研修会の開催、自信と信念を持って行動、勇気を持って行動、本音で話す、相手に興味・関心を持ち、よく知ること～

● プロフェッショナルであること

～専門部会開催（成功事例共有、展開、仕事力向上）、社史の勉強、社会規範の遵守、常に最善を尽くす、礼節を重んじ礼儀正しく振舞う～

● 夢を持ち続けること

～本部・支部・分会・拠点単位の労使協議会、目標達成支援（各種制度の理解浸透、周知活動）、各職群のキャリアデザイン設計、ライフプラン支援、自分らしさの追求、ゴールをイメージし日々の行動に繋げる、目標を仲間と共有～

● 家族を大切にすること

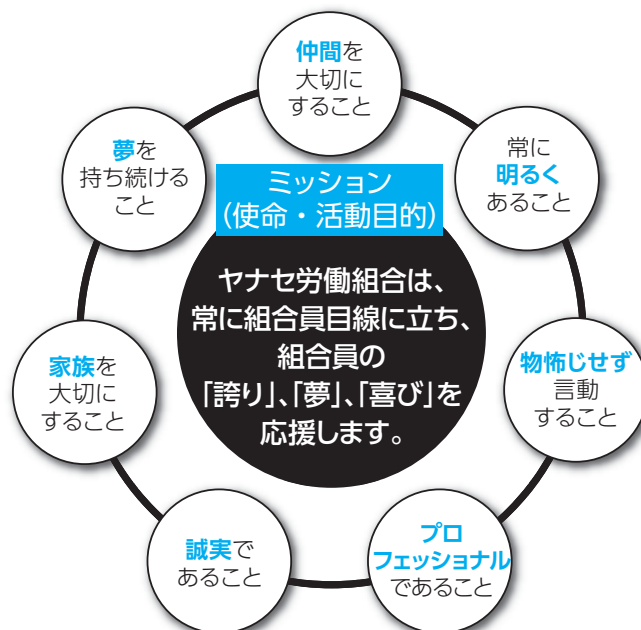
～充実したワークライフバランスの実現（業務効率化による有効時間の創出）、充実した福利厚生イベントや福利厚生施設の提供、記念日を祝う～

● 誠実であること

～職場集会の開催（組合員と真剣に向き合う、傾聴する、問題を見過ごさない）、声掛け運動、社会規範の遵守、自分自身に誠実であること、相手に尽くすこと、惜しまないこと～

組合ビジョン
(ありたい姿)

“私たち組合員はこうありたい”





2015年度 重点目標 ②

処遇向上＝会社収益×職場環境

▶ 完遂のための具体的な活動

- 組合役員が職場の“問題発生を防止する”、“問題を発見する”、“問題をその職場で解決する”、“問題解決後にフォローする”ことに取り組みます。
～各委員会や研修会を通じた問題や課題の発見力・現場解決力の向上、職場パトロール～
- 安全衛生面を充実させます。
～安全衛生委員会や拡大安全衛生委員会の開催を通じた危険予知や改善提案活動、職場安全パトロール、問題発生事例の研究とその対応策の検討、安全衛生ニュース発行～
- 会社方針や計画とその進捗を確認し、組合員に伝達します。
～情宣物や組合役員を通じて、都度、分かりやすく情報提供～
- 全国の様々な成功事例を集約し、再度全国へ展開、共有します。
～各委員会や研修会、専門部会を通じて、地域や車種、職種ごとの成功事例を集約・展開・実践までサポート～
- 労使協議会や懇話会を開催します。
～テーマに応じた単位（中央・支部・拠点・職場など）で処遇向上に繋がる意見交換会を実施～
- “ヤナセらしさ”の共有、浸透に努めます。
～組合ビジョンの7つのワードを軸にあらゆる場面で“ヤナセらしさ”について追求、組合員一人ひとりが“ヤナセらしさ”について考える機会を提供、“ヤナセらしさ”＝“ヤナセブランド”に活路を見出す～

2015年度 重点目標 ③

あらゆる労働条件の向上に取り組みます

▶ 完遂のための具体的な活動

- 賃金と一時金の維持・向上に取り組みます。
～労使協議会、賃金に関する労務委員会の開催～
- 各種制度の検証と改善に取り組みます。
～ワーキンググループの開催（賃金給与関連、退職金関連、評価関連、各種制度や運用面など）～

2015年度 重点目標 4

働きがいのある職場と豊かな暮らしの実現に取り組めます

▶ 完遂のための具体的な活動

- 有効時間の創出を通じて、
仕事と生活の調和をサポートします。
～業務改善・効率化推進と取り組み事例の共有、定期的なミーティングや工程表作成などによる業務進捗状況の「見える化」や「お互い様」の意識醸成、時間外労働削減、女性活躍支援セミナーの実施、年次有給休暇の積極的な取得を促進～
- 福利厚生活動を充実させます。
～本部・支部・分会での活動、福利厚生ニュースの定期発行、契約宿泊施設やレジャー施設の利用促進、各種イベントの企画・実施、組合ホームページの充実、新福利厚生制度の利用促進～
- 組合員のライフプランをサポートします。
～ろうきんやその他金融機関による金融サービスの情報提供、生活に関連するセミナー実施によるライフプランのサポート、組合員の生活に密着した情報誌「WAY通信」の発行～
- よりよい社会の実現を目指して、社会貢献活動に取り組めます。
～リングブル収集による車イス寄贈、エコキャップと外貨コイン募金による世界の子供たちへのワクチン支援、普通救命資格取得による緊急対応能力の向上、地域小学校での交通安全教室の開講～
- 法令遵守を徹底します。
～社会規範やモラル、就業規則の遵守、研修会や中央執行委員会での法令違反の発生防止を周知徹底、賞罰事例の共有～
- 財政活動をさらに深化させます。
～予算の進捗管理と執行業務、円滑な精算処理業務、資産管理やその運用と研究～

